

名寄市観光キャラクター「なよろう」着ぐるみ使用マニュアル

1 着ぐるみ着用等に伴う留意事項

運搬・扱い・着用の際しましては、次の事項に留意し使用してください。

(1) 着用者

着ぐるみは、身長155cm～175cmの方が着用できる構造となっています。(着ぐるみの構造上165cm以下の方が着用すると可愛らしく見えます。)

着用する方は体調のすぐれない場合は遠慮してください。着ぐるみは、着用者の身長により視界とする場所がことなり(見えづらい場合があります。)、また、動きが制限されることから、周囲の状況に十分注意してください。

(2) 運搬・取り扱い

運搬時・着脱の際の着ぐるみは強い衝撃・圧力、かどに当たる等は破損の原因となります。運び方・扱い方には細心の注意を払ってください。着ぐるみの装着口にあたる縁、パーツ部分を掴んで扱うと破損する場合があります。全体を抱きかかえるように持ち上げてください。

(3) 介添者

着ぐるみを着脱する際は、必ず介添者を1人以上つけ、控室等で人目にふれないよう着脱してください。着用者は(1)のとおり動きが制限されるため、演技中や移動時においても必ず介添者をつけることとし、周囲の器物や人にぶつかったり、転んで怪我をしないように、常に注意を払ってください。

また、着ぐるみの周囲には子供たちが集まってきます。子供たちと触ったり握手する等の触れ合いを行うこととなりますが、中には度を越し、殴ったり叩いたりする子供がいます。破損に繋がるおそれがあるため、度が過ぎる子供のスキンシップは介添者が制止してください。

(4) 着用時間

着ぐるみ内部は高温多湿となるため、1回の使用を30分以内(夏季は20分)とし、十分な休憩をとるとともに、水分補給を行ってください。複数人が交代で着用することが理想です。

(5) 服装

着用の際は、以後の使用者が快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないよう以下の服装で着ぐるみを着用してください。また、着替えも用意してください。

- ①体 汗を吸いやすい長袖のシャツ
- ②足 ズボン(ジャージ、体の大きい方はスパッツ等)
- ③手 手袋(軍手等)
- ④頭 バンダナや手ぬぐい等を頭にまいてください。

(6) 天候等

着ぐるみの雨天における屋外使用はできません。雨が降って来た場合は、速やかに撤収してください。雨が上がった場合は、地面が濡れているのでレインブーツを着用してください。

また、火気・水気には絶対に近づけないでください。

2 着脱の方法

着脱の際は、次の手順で行ってください。

(1) 着用するとき

- ①着用者は、長袖シャツ・ジャージ等の軽装になり、手袋・手ぬぐい等を着用する。
- ②脚部を履きます。
- ③ブーツを履き、ゴムバンドに足を通す。(地面が濡れている場合は、レインブーツを着用してください。)
- ④必要な時は保冷材ベルト・保冷材を装着してください。
- ⑤着用者は両手を上げ、介添者により胴部を上からかぶるように装着する。その際に腕部に両手を通してください。
- ⑥肩のベルトで胴部の位置を調整します。
- ⑦頭部内部へ小型扇風機を入れてください。(扇風機は充電されているか確認してください。)
- ⑧介添者と頭部をかぶり、内部のヘッドギアに頭を固定する。ヘッドギア内のドーナツ型のウレタンは2枚あるので固定具合をみて調節してください。肩で支えるためのウレタンは取り外しができます。)
- ⑨手部を装着し、内側のゴムバンドに手を通す。
- ⑩視野を確認し、動ける範囲を確認してください。

(2) 脱ぐとき

- ①介添者は頭部を外してください。
- ②手部をはずす。
- ③着用者は腕を抜き、着用時同様に両手を上げ、介添者により肩ベルトを外した後、上から胴部を脱ぎます。
- ④ブーツを脱ぐ。
- ⑤ズボンを脱ぐ。

(3) 使用後の手入れと返却

- ①頭部・胴部の内部をよく絞った濡れ布巾で軽く拭いてください。
- ②カビ防止のために頭部・胴部の内部に除菌消臭スプレーをかけ、陰干しで十分乾燥させてください。
※着ぐるみ表面には消臭スプレー、芳香剤等は絶対にかけないでください。変色などの原因となります。
- ③手部と脚部は裏返して、除菌消臭スプレーをかけ十分乾燥させてください。
- ④完全乾燥後、収納用袋に入れて、高温多湿を避けて保管してください。
- ⑤①～④の作業を完全に終えてから、返却してください。
※収納は一人では難しいので必ず複数人で行ってください。返却時は、1(2)同様に抱きかかえるよう運搬してください。

3 演技の際の留意事項

(1) 着用者向け

着ぐるみ着用者は、次の事項に留意して演技してください。ただし、着ぐるみに負荷がかかる無理な体勢、激しい動きは、行わないでください。

①動き

ア 動きはオーバーアクション気味に動く。

着ぐるみは手足が短いので、意識的にオーバーアクションで動かないと見ている側には着ぐるみの動きは小さく見えます。

イ 小さな子供との握手等の触れ合いは、できるだけ低い体勢で行う。

着ぐるみは想像以上に大きく見えます。その大きな着ぐるみに見下ろされる感覚になり、恐怖心を抱きかねません。

ウ 子供を抱きかかえる行為やイメージダウンにつながる行為は厳禁。

②発声

ア 着用中は声を出すことは厳禁。特に介添者との雑談等は注意してください。

イ 着用者の表情は表に出さない。不都合な事態は介添者に対応してもらってください。

ウ 予め介添者との間に「緊急事態」「トイレ」「暑さで限界」等のサインを決めておいてください。

③移動

ア 移動についての方向・スピード等は介添者の指示で行ってください。着用者によって視界が狭くなるポイントが異なります。目の届かない部分は介添者の指示に従い、特にドア等を通過する際は、上と横のサイズが着用者には見えませんので、介添者の指示に従い、くれぐれも注意して通過してください。

イ 走る行為は事故につながるので厳禁。

④その他

ア 必ず一定時間を守り着用してください。基本は30分以内（夏季は20分）とし、休憩をとり水分を補給してください。無理な行動は絶対にしない。

イ 火気のそばは引火の危険があるので絶対に近寄らない。着用したままのタバコも厳禁。

ウ 雨天時は屋外に出すと、汚れや破損の原因となるので、絶対に使用しない。

(2) 介添者向け

着ぐるみの介添者は、次の事項に留意して介添してください。

①位置

ア 着ぐるみとは「付かず離れず」を心がけ、緊急時にはすぐ対応できる距離にいる。

イ 必ず着ぐるみを斜め前方より先導し、必要な時は手を引いて歩行を補助する。また、子供等の突進は必ず止める。

ウ 介添者が2人以上付く場合は、前後に分かれる。

②声かけ

ア ポイントポイントで、状況を必ず着用者に知らせる。

イ 「なよろう」への声かけは、着用者ではなく「なよろう」へ声をかける。

「なよろう、お友達が握手したいそうだよ」「なよろう、一緒に写真撮ろうね」

「なよろう、前に階段があるから気を付けてね」

ウ 控室以外で、着用者と雑談をしない。

③対応

ア 周囲の状況に絶えず気を配る

イ 着用者の様子に気を配り、無理をさせないようにする。

ウ 着ぐるみに危害を加える人には、毅然とした態度で注意する。特に小学生頃の男子は「何だこいつ」「何で出来てるんだ」等、着ぐるみを殴ったり叩いたり蹴ったりとする場合があり、破損に繋がることから必ず止める。

エ 着ぐるみの中への質問は「“なよろう”は“なよろう”ですよ」と答える。

オ 握手や写真撮影の際、人の整理を行う。

※可能であれば、介添者も事前に着ぐるみを着用体験しておくことが望ましい。

お問い合わせ先

名寄市経済部営業戦略室営業戦略課

〒096-8686

名寄市大通南1丁目1番地

TEL : 01654 - 3 - 2111 FAX : 01654 - 2 - 4614

E-mail : ny-eigy@city.nayoro.lg.jp